

7月13日(火)～15日(木)にかけて、鳳珠郡能登町小木の金沢大学環日本海域環境研究センター臨海実験施設と七尾高校において1年生理数科生徒を対象に「マリンサイエンス」を実施しました。この実習は、金沢大学の協力をいただき、能登半島の海の生物を体験的に学ぶことで、生物学についての知識を高め、自然を視る眼や科学的な視野を養うことを目的としているもので、毎年生徒に大変人気の高いものです。天候にも恵まれ、海の生物の採集や乗船実習を行うことができました。海の生物について、班ごとにテーマを決めて研究を行いました。最終日の発表では、最優秀賞に選ばれた2班に景品としてサクラ貝の標本が授与されました。残念ながら昨年度に引き続き新型コロナウイルス感染拡大防止のため、宿泊を伴わない研修となりましたが、生徒たちは色々なことに互いに協力し合って積極的に取り組んでいました。

なお、発表会は本校と能都中学校、松波中学校、環臨海実験施設をオンラインで結び、本校生徒だけでなく、中学生、大学生、大学院生、大学の研究者が参加し、活発に質疑応答がなされました。



研究テーマ一覧

- ・あつまれスポンジボブの森
- ・うごけウミウシくん
- ・脳なしクラゲの好き嫌い
- ・借りぐらしのヤドカッター
- ・環境の変化とカニの移動習性
- ・海のDyson♡海綿動物
- ・貝による水の浄化～僕たちのすごさ知りたいカイ？
- ・菅足を観測してみた



「脳なしクラゲの好き嫌い」 「環境の変化とカニの移動習性」

○マリンサイエンスで、自分たちで生物をとり、研究していくうちに、生物の知らなかった生態がわかり、興味を持つことができました。

○今回のマリンサイエンスを通して生物がより身近に感じられるようになりました。

○磯採集では生物が思ったより見つからなくて命を守るためにしっかり隠れているのだなと実感した。実験では、自分たちで条件を考えたり、正確なデータを集めたりすることが難しかったが、予想通りの結果、または予想と正反対の結果が出た時はうれしかった。

○マリンサイエンスを行い、海洋生物の新しい知識を取り入れたり、実際に触れたり、実験をしたりすることができたので、海の生物に対する興味が一段と上がりました。

感想(高校生)



○イラストなどで分かりやすい説明だったので、楽しく聞くことができました。様々な研究テーマがあったのでおもしろかったです。

○様々な海の生物の生態や、その生態から考えた生態についての謎が知りたい事実をたくさん実験から考察を考えていたのもすごいと思ったし、自分も実際に実験してみたいなと思いました。

○なぜそんな疑問が浮かぶのかという凄いものばかりでとても勉強になりました。普段よく見ている海の生物について知れてとても楽しかったです。

○発表を聞いて、各班実験をしているのでとても説得力がありました。また、対照実験を行っていたり、細かい所まで調べていてすごいなと思いました。

感想(中学生)